

# '96／年報

平成8年度

No. 4

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



## はじめに

わたしどもの考古資料館も、今年で4年目を経過しようとしています。入館者の数も4万名をこえ、開館初年度の16,000名は別として、年間8,000名の入館者を維持し、今年度はさらに少しふえる傾向にあります。

これまで順調に運営して参りましたのも、山形県教育委員会文化財課、高畠町教育委員会、本館運営協議会の先生方のご指導・ご助言の賜であり深く感謝申し上げます。

そして、北は北海道のさいはてから、南は沖縄県まで、さらにオーストラリア・アメリカ・中国青海省・モンゴルなどの世界各地から、この東北の片田舎の交通不便な土地にわざわざ足を運んでくださった方々のおられることは、感激のきわみでもあります。また、本資料館をささえるために地域の方々の大きなご協力があったことも忘れることができません。

さて、いよいよ来年度は創設5年目を迎えることとなります。これを機会に今後2年にわたって、より親しみやすくわかりやすい展示をめざし、大幅な展示について改善を予定しております。今年度は、「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」を催し、遠方から多くの研究者や考古学ファンが訪れました。文字通り、東北の縄文・古代文化を全国へ発信する機能を果たすと共に、来年度は、高畠町によって進められている本館周辺の歴史公園の整備とともに、いよいよ「創造の館」の完成をみるようになっております。わが館の大きな特色でもある各種体験学習などのソフト事業の一層の充実をめざし、個性的で、魅力あふれる東北の文化にふれそして体験できる素晴らしい資料館として大きくはばたいていく所存でございます。

なにとぞよろしくご指導・ご助言のほどをお願い申し上げます。

1997年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

館長 川崎利夫

# 目 次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 展示の概要 .....      | 1  |
| (1) 常設展示の概要 .....   | 1  |
| (2) 企画展・特別展 .....   | 2  |
| (3) 収蔵品展 .....      | 4  |
| 2. 教育普及活動 .....     | 5  |
| (1) 公開講演会           |    |
| (2) 体験教室            |    |
| (3) 遺跡めぐり           |    |
| (4) 縄文月見の宴          |    |
| (5) 考古学入門講座         |    |
| (6) その他の教育普及事業      |    |
| (7) うきたむ考古の会        |    |
| 3. 資料の収集・保管 .....   | 11 |
| 4. 資料の活用 .....      | 15 |
| ・館内利用の状況            |    |
| ・刊行物一覧              |    |
| 5. 入館状況 .....       | 16 |
| ・月別入館者一覧表           |    |
| ・主な入館団体一覧           |    |
| ・来観者アンケート           |    |
| 6. 管理及び運営 .....     | 20 |
| (1) 今年度の職員・組織       |    |
| (2) 運営協議会           |    |
| 7. 歴史公演整備事業 .....   | 22 |
| 8. 受贈資料・図書・書籍 ..... | 23 |
| 9. 日誌抄 .....        | 29 |

# 1. 展示の概要

## (1) 常設展示の概要

ロビーには「置賜のあけぼの」のテーマで、飯豊町上屋地遺跡出土の前期旧石器、小国東山・岩井沢・湯ノ花などの諸遺跡の後期旧石器から細石器までケースの中に陳列され、壁面には当時の生活を描いたイラストが掲げられる。

常設展示室に入って、中央部に高島町押出遺跡の復元された住居跡と当時のくらしぶりを示すジオラマが据えられている。これは、平成6年度に完成をみたものである。

「大谷地をかこむ遺跡」では、日向洞窟遺跡の縄文最古の土器や石器がイラストとともに展示され、他に縄文早期の南陽市月ノ木B・米沢市柿の木、前期初頭の米沢市八幡原B・さらに高島町福間田遺跡の古い時期の遺物が並んでいる。なかに撚糸文や押型文の土器があり興味をひく。

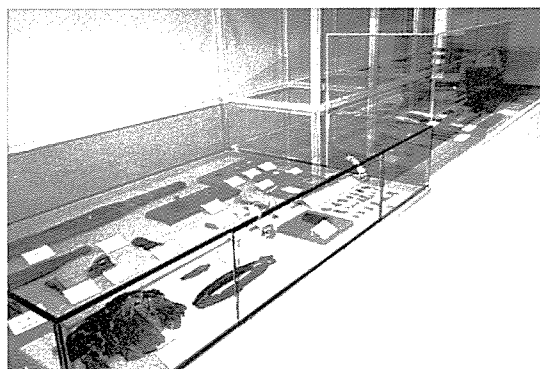
「縄文時代のタイムカプセル」では、高島町押出遺跡出土の彩漆土器レプリカを陳列ケースにかざる。このたびはさらに土器群の他、各種装身具・木製品・異型石器・クッキーなど主要な遺物を展示し、遺跡の全容にできるだけ迫ろうと試みた。これらの遺物はいずれも国の重要文化財として指定を受けたものである。

「古墳をつくる人々」では、これまでの展示と殆ど変わらないが、米沢市堂森遺跡の弥生土器からはじまり、前期の土師器から後期の土師器・須恵器を中心に、川西町下小松古墳群の鉄鏃、山形市お花山古墳群発見の銅鏡・玉類などを置賜地域の主要古墳の写真とともに展示し古墳とその時代の生活の一端が理解できるようになっている。本館の周辺の末期古墳から発見された須恵器のなかにも貴重なものが多い。

常設の展示資料のなかには、他の施設や個人から借用している資料がかなり多い。したがって借用期限がせまる来年度末まで、大幅な展示の改善が必要になってくるであろう。



ロビーの展示



常設展示室の一部

## (2) 企画展、特別展

●第5回企画展「山形県の古代窯業遺跡」 開期 4月27日～7月31日

いま使用されている陶磁器のルーツである古代の窯業遺跡について、主としてそれを制作した窯業と須恵器を中心にして古代山形の窯業の変遷について考えようとしたねらいである。

全国的にみれば、古代須恵器が朝鮮からもたらされたのは、5世紀前半にさかのぼるが、山形の地でこれが生産され始めたのは、8世紀の律令体制に組み入れられてからのことである。それ以前の西日本からもたらされた各種の須恵器をまず展示し、ついで本格的に窯業がおこなわれる8世紀の高島町味噌根、米沢市木和田窯出土の製品をならべた。1996年に高安や合津（高島町）の7～8世紀の窯業遺跡がその後に発見されている。その時点では、不明であった。しかし、8世紀前半に属する現地生産の須恵器がはじめて公開された。ついで8世紀後半の米沢市大神窯の多くの資料や川西町檀山、上山市西部丘陵窯跡群、鶴岡市荒沢などの資料が展示され、本館手作りの窯模型も陳列された。

これら多くの須恵器窯跡は、国府や郡家などの国家的機関に関連をもつ官窯である。

さらに須恵器生産が最高潮に達する9世紀の寒河江市平野山、酒田市東部丘陵窯跡の平田町山海・酒田市願瀬などの製品も紹介され、須恵器生産の衰退期にはいる天童市二子沢の製品が最後に展示された。

8世紀から10世紀にかけての窯業生産とその遺物のなかに、古代の政治や社会の移り変わりを読みとられるように意図した。県内においては、はじめての試みであった。

なおこれを機会に資料解説「山形県の古代窯業遺跡」を刊行し、国立歴史民俗博物館教授の吉岡康暢教授を招いて公開講演会を実施した。



展示状況 (1)



展示状況 (2)

●第3回特別展「縄文のタイムカプセル 押出遺跡展」 開期 10月1日～11月30日  
今年6月、高島町押出遺跡出土1,041点の遺物が国より重要文化財に指定されたのを機会に、昨年度の「3周年記念特別展よみがえる縄文文化」に続いて、この特別展が開催されたものである。

高島町大字深沼に所在する押出遺跡は、国道13号線南陽バイパス工事にともない、1985年より87年までに山形県教育委員会によって調査が行われたものである。約4,000平方メートルの発掘面積であったが、全面泥炭層におおわれた湿地帯であったため、木製品や自然遺物も多く発見された。とりわけ5,500年以前の縄文前期後半の漆工芸技術の粋をしめす彩漆土器やクッキー状の炭化食品、舟をあやつるカイやへら状の各種木製品、木杯や木盤などの破片、クルミやくりなどの自然遺物も発掘された。土器や特徴的な石器も多数出土をみた。その漆技術や食文化、木工技術などは、縄文文化観の再転換の契機ともなった。低湿地遺跡であったため、平地住居の建築部材も多数発見された。資料の主なものは、本資料館の保管となっているが、そのうち255点をこの度展示した。

全体を(1)漆、(2)うつわ、(3)くらし、(4)狩りと漁と採集、(5)まつりとよそおいのテーマに区分した。(1)は彩漆土器群、漆付着の土器、木胎漆器、(2)各種の完形縄文土器群、(3)は衣食住にわけて、編み物片、炭化食品、柱や各種の木工製品、樹皮製の小袋、石皿や磨石、くぼみ石など。(4)は石槍を中心に各種の狩猟用の石器類、タモ網のわくなど、(5)は石製装飾品、石棒・異型石器、獣面取手など。壁面には、理解を助けるためにそれぞれ説明・図・写真などが飾られ、5,500年前の生活の復元をこころみた。

図録として「縄文のタイムカプセル押出遺跡」(カラー、モノクロ図版47ページ)を刊行し、10月10日には、国立歴史民俗博物館副館長の佐原真氏の特別講演会を催した。



開展式の状況



展示された彩漆土器

### (3) 収蔵品展

企画展と特別展の間、特別展が終了してから次のように収蔵品展示をおこなった。なおこれにあたっては、米沢市教育委員会と高畠町教育委員会より一部資料を借用した。

- 「縄文の四季」 開期 8月6日～9月25日

はじめに「縄文カレンダー」をかかげて、全スペースを春・夏・秋・冬に分け四季それぞれに使用された採集・狩猟・漁労などに使われた石器などの道具、獲得された自然遺物などを展示して縄文人が自然と共生する姿を具体的に考えることをねらいとした。春～すまいづくり、山菜とり、土器づくり、夏～魚とり、石器づくり、秋～木の実の採集、保存食作り、まつり、冬～狩り、クッキーづくり編み布づくり、春への準備などの仕事をそれぞれ想定し、関連する資料とパネルを展示した。

- 「やきもののうつり変わり」 開期 12月5日～4月25日

われわれの日常の生活にとって切りはなすことのできない「やきもの」のうつり変わりについて (1) 土器のあけぼの (2) 縄文土器の展開 (3) 古代の土器とくらし (4) 土器から陶器へ、の4テーマごとにその変遷を追ってみた。したがって土器の起源を示す縄文草創期から江戸時代の成島焼きまで時代順に陳列し、それぞれの解説を試みた。これには、米沢市教育委員会と高畠町教育委員会より貴重な資料を拝借した。古代末から中世にかけての資料が少ないが、これはこれまでの実態を示すものととらえられる。



縄文の四季



やきもののうつり変わり



## 2. 教育普及活動

### (1) 公開講演会

6月8日(土) 「東日本の古代窯業生産と流通」 受講者 51名

講師 国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康暢氏

第5回企画展「山形県の古代窯業遺跡」特別講演会として開催した。はじめに、5世紀前半に朝鮮半島から伝えられた須恵器製作の技法がどのように全国に広まったかについて、述べられた。そして北陸から東北へかけての須恵器生産について言及され、律令体制の整備と密接につながって各地に普及して行く様相と、山形県の主な窯業遺跡について述べられた。そしてそれが中世窯業へ転換して行く条件について話された。

10月10日(木) 「縄文文化と現代」 受講者 70名

講師 国立歴史民俗博物館副館長 佐原 眞氏

第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡」特別講演会として開催した。考古学的な年代区分のありかたから、縄文時代のその文化の捉え方、そして題目にもあるように、今私たちの暮らす現代との関連性を比較しながら、縄文の文化について講演された。縄文時代を多角的な視点で鳥瞰しながらも、分かりやすい言葉で話され、受講者の感想も非常に良いものであった。

なお、考古の会の会誌である『うきたむ考古第2号』に講演録を掲載している。

### (2) 体験教室

#### ①土笛・土鈴・土面づくり教室

1回目 6月16日(日) 形づくり

2回目 7月21日(日) 野焼き

参加者 13名 講師 米沢市教育委員会 手塚 孝氏

体験学習も毎年少しずつ指向を変えながら行っている。

まずは屋外に出て、ヨモギと山砂を採取し、調整して一定の割合で練り込み、米沢市台の上遺跡にて出土した土笛を観察し、土笛や土鈴と、土面を形づくり1日目が終わる。各自持ち帰り、表面を磨いた上で野焼き時に持って来てもらう事とした。土面には、成形時間を短縮するため、実際に出土した土面を再現した2種類の型を使用して作った。

野焼きは、軽く地面に穴を掘り、数時間焼いて出来上がる。焼き上がってすぐ、スコップで取り上げ用意したバケツの水に入れて赤褐色の色を出す。熱いまま水に入れるという方法には、皆驚いていたが、土面は湯気をあげて取り出され、ほとんど割れずに焼き上げる事が出来た。

## ②土器づくり教室

1回目 7月14日(日) 土器づくり

2回目 8月31日(土) 野焼き

参加者 23名 講師 陶芸家 水野 哲氏

今回で4回目であるが胎土、野焼き方法を変化させているので恒常的ではなく、毎回は試みである。

1回目は施文具をつくり土器を成形する。縄をなうことや、撚るということが日常から遠ざかったのは、それほど昔のことではない。今でも、正月のしめ縄などにその心と技術は現存している。ただ、ほとんどの参加者は、撚りをかけて縄にすることは初めてである。多くの種類の施文具を作ることは出来ないが、その原理を少しでも理解して頂けたであらうか。

2回目は野焼きである。今回は間に干し草を使用したり、2カ所に分けて焼き方を変化させた。土器を焼き上げるまでの長い時間を利用して、日よけの場所を作り、用意した食材と周辺にみつけたキノコや、朴の葉、葛の蔓で縄文風料理も楽しんだ。途中、本焼時に木材を積み上げ過ぎ、その重みで、一部の土器が破損してしまったのが残念であった。

## ③編み布づくり

2月22日(土) 参加者 11名

2月23日(日) 参加者 6名

初めての試みであったが、編み工具の関係で各日10名として行った。編み布は、町内の押出遺跡からも出土し、今年度国の重要文化財に指定されている。このことを考慮し、いずれは参加者と共に出土した布の再現をして行きたいと考えているが、今回は編み方のみを学習した。

始めに、廃材などを利用し、越後アンギンになった簡易な編み工具の製作を館の方で用意した。体験教室に不可欠な試行錯誤のある準備段階である。糸は綿の糸と麻の紐を利用した。午前中は、縄文の布についての講話をした後、指定した大きさでそれぞれ基礎編みを体験した。午後の参加は自由としたが、ほとんどの参加者は編み方、大きさ、糸を変化させた編み方を試みて3時過ぎに解散となった。編むこと自体は楽しく、工具を作って家でも編んでみたいという感想は多く聞かれたが、“縄文の”という部分をどのように体験学習するかが、今後の課題である。



### (3) 遺跡めぐり

#### ①春の遺跡めぐり

5月12日(日) 参加者 26名

講師 川西町教育委員会 齋藤 敏明氏

「置賜地域の遺跡をめぐる小さな旅」シリーズの初回である。川西町の下小松古墳群の散策を中心に、マイクロバスで埋蔵文化財資料展示館、天神森古墳、掬粹巧芸館を訪ねた。近くでありながら、改めて訪れる機会のない遺跡等を見聞き、地域の歴史への理解を深めることを目的として始めた新しい事業である。川西町教育委員会に講師を依頼し、発掘の担当者ならではの熱心な解説を聞きながら、新緑に包まれた古墳群を散策することができた。

#### ②夏休み親子で遺跡探検

8月4日(日) 参加者 13名

講師 川崎 利夫館長

夏休みということで、親子での参加を募った。資料館周辺の遺跡や歴史資料を歩いて巡った。安久津八幡神社、鳥居町古墳群、安久津古墳群、味噌根窯跡等。

#### ③秋の遺跡めぐり

11月17日(日) 参加者 23名

講師 南陽市教育委員会 吉野 一郎氏

今回のエリアは南陽市。稲荷森古墳、二色根古墳群、蒲生田古墳群、烏帽子山古墳、東正寺磨崖板碑等の史跡を始め、夕鶴の里にて民話の「語り」も楽しむことが出来た。



#### (4) 縄文月見の宴

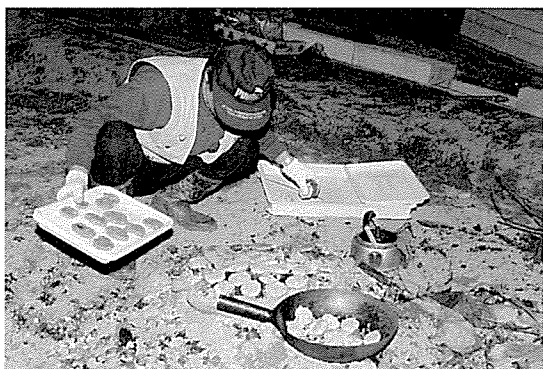
10月20日(日) 参加者 51名

出演 長井市縄文太鼓

例年は中秋の名月の前後に行っていたが、今回は特別展の開催に併せて1月ほど遅らせて開催した。また、今回はこの歴史公園管理組合の地域の住民も特別に参加して頂いた。

- ・石器作り
- ・縄文の料理作り
- ・宴(縄文料理の食事)
- ・縄文太鼓の演奏
- ・スライド上映
- ・月見の語らい

午後3時から9時まで以上のような日程で行った。まずは屋内と屋外に分かれ料理の準備に取りかかった。屋内では縄文クッキー用に栗を剥いて石皿で粉にしたり、石器にて肉を切ったりの作業をした。分量と材料を変化させ、2種類のクッキーを作ったが、何よりも数多くの栗の皮を剥いて粉にする作業が大変である。屋外では火を起しクッキーを焼くための石を熱し、竹はコップや箸に加工し、朴葉、葛を使用した魚の蒸し料理、芋煮鍋(縄文ではないが)等を用意した。作って(触)、食べて(味・臭)、音楽(縄文太鼓)を鑑賞して(聴)あるいはムラ人となって演奏し踊って、縄文文化をスライドで見て(視)と、五感をフル活用したような盛り沢山な体験学習である。意外に石器で肉が切れ、栗やクルミを粉に出来るということ、思ったよりもおいしいなどと参加者は何かしら感じてくれたであろう。このような体験学習は遊びの要素も強いため、あくまで、学習の域で行なうか、イベント化して多くの参加者を募るのか、今後考えられる方向性であろう。



## (5) 考古学入門講座

第3期やさしい考古学入門講座 ～遺跡発掘最前線～「遺跡を掘る」パートⅠ

7月13日(土)～12月1日(日) 参加者 延べ228名

タイトルにあるように、県内遺跡の発掘担当者よりその時代の調査方法や発掘最新情報を講義して頂いた。報告書に現れて来ない現場での経過や試行錯誤など、調査担当者ならではの話を聞くことが出来た。主な講義内容は以下の通りである。

第1回 旧石器時代の遺跡を掘る 渋谷孝雄 講師

袖原3遺跡・金谷原遺跡…日本における旧石器時代の発見の歴史を始め、今まさに県内最古の数字を更新しつつある袖原遺跡の状況等について講義された。

第2回 縄文草創期の洞窟遺跡を掘る 佐々木洋次 講師

高島洞穴群(日向・一の沢・火箱岩・大立洞窟)…国指定となった4遺跡を始め町内の洞穴遺跡における縄文草創期調査の重要性とその内容について講義された。

第3回 縄文時代の大集落を掘る 阿部明彦 講師

西海淵遺跡・川口遺跡…大集落といってもその全貌を発掘することはなかなかない。遺構から全体の想定、その発掘の状況について講義された。

第4回 弥生時代の遺跡を掘る 佐藤庄一 講師

堂森遺跡・生石遺跡等…県内では少ない弥生の稲作を証明する遺物発見の歴史、その遺跡と資料について講義された。

第5回 遺跡発掘現場の見学実習 手塚 孝 講師

縄文中期台の上遺跡(雨のため、米沢市埋蔵文化財分室にて)…現地説明会資料、多くの出土遺物を見、触れて観察した。余興として講師の指導により作られた縄文コーヒー(どんぐり)を楽しんだ。

第6回 古墳を掘る(1) 井田秀和 講師

安久津2号墳・味噌根古墳…当館に隣接した安久津2号墳の発掘時の状況について、そして、調査中の味噌根古墳現場を受講者とともに訪れ、講義された。

第7回 古墳を掘る(2) 長橋 至 講師

下小松古墳群・菅沢2号墳・お花山古墳群…古墳の北限地域にある、県内古墳の調査と特徴などについて講義された。

第8回 古代の窯跡を掘る 名和達郎 講師

山海窯跡群…県内古代窯業遺跡の全体像について、立地的にも調査の初めの段階の難しさなどを講義された。

第9回 古代のムラを掘る 阿部明彦 講師

高瀬山遺跡群…ムラ全体の設計、ミゾ等の用途の不明な部分、建物の企画性など調査を追って講義された。

第10回 戦国時代の城跡を掘る 真壁 建 講師

山楯楯跡・藤島城跡…時代背景から文献資料まで、この時代の考古学的捉え方、調査状況など講義された。

## (6) その他の教育普及事業

①風土記の丘写生大会 5月4日(土) 参加者20名

5日(日) 参加者7名(雨天のため館内をスケッチ)

開館以来初めての試みであった。小学生に「うきたむ賞」、家族に「ふれあい賞」一般に「館長賞」を設定し5月12日に表彰式を行った。その後、6月7日まで館内ロビーに全作品を展示した。

②夏休み自由研究相談 8月8日(木) 参加者4名

9日(金) 参加者5名

小学生の夏休みの宿題を対象に、館内資料を選択し閲覧できるようにし、研修室を開放した。必要に応じて、館長等職員が相談に応じた。

## (7) 「うきたむ考古の会」の事業

「うきたむ考古の会」は、平成7年9月に発会した自主的な会である。やさしくわかる考古学の普及と創造を目指し、考古学を学ぶ生涯学習の場として相互の交流を深めることを目的としている。事務局は当館に置かれている。年1度の会誌の発行を軸に、会員の意志を尊重しながら、様々な試みをする場である。

・～みる・きく・ふれる遺跡の旅1～三内丸山遺跡と亀ヶ岡文化を訪ねる

6月1日(土)～2日(日) 参加者45名

会員及び一般の参加者を募り、大型バスにて1泊2日の旅を行った。申し込み希望者が定員をはるかに越えたのは、三内丸山遺跡の話題性のためであろう。又、旅に一つのテーマを持たせるスタディツアーというものが一般化しつつあるせいかもしれない。2日で巡るには、少々遠い場所であった。

・会誌「うきたむ考古第1号」創刊 6月5日(水) A5判 総頁60頁 発行300部  
寄稿者13名に、特別講演会録(三内丸山遺跡と東北の縄文文化 岡田康博氏)を加え創刊した。エッセイ的なものから論文まで、会員の様々な視点で執筆されている。

・総会 6月8日(土)

・小湯山散策(雨天中止) 9月7日(土)

・味噌根窯跡試掘・芋煮会 10月5日(土)

平成7年度の考古学入門講座の試掘の続きである。3号窯の想定のもと、限られた時間であるが18名の参加により調査した。結果として、窯体と推定されるものに触れることは出来なかったが、炭化物と非常にもろい生焼けの土器片数点、また、時代的には異なるであろうが砥石に使用されたと思われる角状の石が発見された。最後に、昨年度発掘した1号・2号窯の整理をして終えた。

昼食は芋煮会として、午前中の労働をねぎらい、懇親と考古学の情報交換の場となった。

### 3. 資料の収集・保管

押出遺跡出土資料の一括国指定について

国保有の6点の彩漆土器をふくめ、主要な資料は、本館が保管しているが、その遺物の重要性に鑑み、平成8年3月の国の文化財保護審議委員会の答申をへて6月に国の重要文化財に指定されたものである。以下彩漆土器についての解説ならびに指定一覧を審議会議案説明書により抜粋して掲げる。

#### (1) 彩漆土器

- ・時代または年代 縄文時代
- ・説明

本件は、山形県押出遺跡から出土した縄文時代前期後半の彩漆土器で、完形に復元された筒体6箇と、ほぼ器形・法量の分かる残欠4箇体分6点（附指定分）からなる。いずれも低地遺跡特有の条件が幸いして、漆の遺存状態もよく、赤漆と黒漆の使いわけ等、きわめて良好な状態で当時の漆工技術を観察することができる。出土状態は、平地式住居跡と目される、円形に配列された柱根の内側からつぶれた状態で出土したものがある他は、特別な出土状態は、観察されていない。

完形に復元された彩漆土器は、一般に浅鉢と通称されているが、むしろ胴部が偏平な球形に張り出す鉢形の土器5箇（彩漆土器1～5）と、同様な器形だやや肩部に張りがある鉢形の土器1箇（彩漆土器6）で、底部は丸底に近く不安定な高台を持つものが1箇（彩漆土器1）ある他は、いずれも0.5～0.8cmの高台を持っている。口縁部には小孔列がある、大きさも径23.0cmを測る最大のもの（彩漆土器4）から径14.7cmの小形のものまで様々である。しかし、残欠中には推定胴径が50cmにもなる大形の筒体（附 彩漆土器3）もあり、この種の土器が形態的には強い斉一性を持ちながら、計量的には大小様々なものが作られたことを示している。

彩漆土器の技法は、まず酸化鉄を発色剤とした赤漆を土器の外表面全体に塗り、その内の6箇（彩漆土器1・2、附彩漆土器1～3）にはこの赤漆を下地として、その上に炭あるいは煤を発色剤としたと思われる黒漆で細線を幾何学的に描き、繊細かつ流麗な文様を表現する。文様の構成は、口縁部の列孔直下、胴部中位、胴最下部に数本単位の横線を2組描いて胴部上半と下半に2帯の文様帯を作り、それぞれ数本単位の黒漆細線で渦巻文を2単位描き、その間隙を三角形の孤線文で埋める。また、口唇部及び底部の高台付近には、黒漆の太線を縦縞に配している。

これ以外の筒体（彩漆土器3～6、附彩漆土器4）は、赤漆を外表面全体に塗ったものであるが、うち1箇（彩漆土器3）は、高台の部分のみ黒漆の太線がストライプ状に描かれている。

彩漆土器は、本遺跡の他、福井県鳥浜貝塚及び山梨県天神遺跡等でも、ほぼ同時期のものが出土しているが、いずれも断片的な出土であり、押出遺跡のように斉一性のある特異な形態の彩漆土器が、しかもまとまって出土している例はない。

本件は、その優美な器形、流麗な文様モチーフが美しいのみならず、縄文時代の漆工技術の水準を知る上で、きわめて重要な意味を持つものであり、その学術的価値は高い。

彩漆土器

6 箇 国（文化庁保有）

附 彩漆土器残欠 4 箇分

山形県押出遺跡出土

彩漆土器

6 箇

| 番号 | 高     | 口径     | 胴径   | 底径   | 遺存度 | 品質・形状等  | 注記番号          |
|----|-------|--------|------|------|-----|---|---------------|
| 1  | 14.5  | 13.0   | 23.0 | 12.0 | 70% | 胴部球形の浅鉢，口唇若干肥厚，口縁部に列孔 27 箇<br>孔径 0.4cm，孔間隔 1.2cm<br>底部は有段・丸底気味。赤漆地に黒漆の細線で幾何学文。                              | p 132 他       |
| 2  | 8.4   | 11.5   | 19.5 | 10.0 | 90% | 胴部偏球形の浅鉢 7 形，口唇肥厚せず，口縁部列孔 27 箇<br>孔径 0.4cm，孔間隔 1.2～1.3cm<br>底部は低い台付・平底。赤漆他に黒漆の細線で幾何学文。                      | p 300 他       |
| 3  | (8.5) | (11.7) | 19.5 | 10.3 | 70% | 胴部偏球形の浅鉢，口唇部欠損，口縁部に列孔<br>2 箇のみ遺存，底部は高 0.8cm の高台が付き平底。<br>外面赤漆塗，高台部に黒漆で約 18 本の縦短細線を彩文赤漆は、底部には塗られていない。        | p 302         |
| 4  | 9.3   | 13.5   | 23.0 | 10.6 | 90% | 胴部偏球形の浅鉢，口唇肥厚せず，口縁部に列孔 35 箇<br>孔径 0.5cm，孔間隔 0.8～0.9cm<br>底部は高 0.7cm の高台が付き平底。赤漆を外面（底面を含む）全体に塗る。             | p 239 他       |
| 5  | 8.5   | 11.0   | 20.0 | 9.4  | 70% | 胴部偏球形の浅鉢，口唇やや外反，口縁部に列孔推定<br>35 箇・孔径 0.6cm，孔間隔 1.2cm<br>底部は高 0.6cm の高台が付き平底。赤漆を底面以外の外面全体に塗る。                 | p 301.<br>303 |
| 6  | 5.6   | 8.5    | 14.7 | 8.1  | 90% | 肩が張った偏球形の薄手浅鉢，口唇若干外反，口縁部に列孔 45 箇（内 12 箇推定復元），<br>孔径 0.3cm，孔間隔 0.4cm<br>赤漆を底面以外の外面全体に塗る。底部は高 0.5cm の高台が付き平底。 | p 357         |



## (2) 重要文化財の指定一覧

時代または年代 縄文時代

説明

押出遺跡は、山形県の南部、米沢盆地の北東、東置賜郡高畠町に位置する。付近は、最上川に注ぐ、「大谷地」と呼ばれる泥炭層の発達した低地帯で、遺跡の北方にある白龍湖は、この一帯がかつて湖沼であった名残を留めている。遺構・遺物は、昭和60年から63年、国道13号線高畠バイパス建設に先立つ調査で地下2メートル付近に包蔵されていることが明らかにされ、約4,000㎡の範囲から、平地式で多数の柱根を残す住居跡20軒以上、縄文時代前期後半の土器・石器・木製品類、動植物遺存体等多量に出土した。

遺物は、前期後半大木式土器の粘土紐貼付文が特徴的な深鉢形土器28箇をはじめ、鉢形土器・台付鉢形土器・浅鉢形土器各1箇、多様な造形の小形土器23箇の土器類や、基部につまみ状の突起がある「押出形ポイント」と呼ばれたものが約80本を含む石槍・搔器・石匙・石錐等の利器、磨石・凹石・食物の焼け痕が残る石皿等加工具としての石器類、さらに赤漆櫛・盤・杓子・石斧柄・手網・籠状木製品の残欠等、多彩な木製品類で構成される。また、これに加えて、偏平な樹皮を折り曲げて左右を別の細い樹皮で縫いとした小袋状の製品や、もじり網みと思われる編物残欠、さらに土器に通じる渦巻や曲線で隆帯状の文様を付け、クッキー形に焼きあげたと見られる炭化食物52箇分も、生々しく当時の生活を伝えている。

この中で赤漆櫛は、残欠ながらわが国現存最古の結歯式と、撚り紐を漆で固めて歯をつくり出した他に例がないものを含む。また、小形土器には、内側にべったりと生漆が付着したものもある。また、籠状木製品には、木剣を思わせる尖頭状の製品もあり、木製祭祀具の可能性が大きい。さらに石製装飾品は、素材に玉髓・琥珀・流文岩等を用いた毬状耳飾残欠・管玉等で構成され、押出遺跡の広域な物流を物語るが、特に琥珀は縄文時代本州最古の製品として貴重である。

以上、本件の一括は、これまで不明な部分が多かった、多彩な有機質遺物を含む、低地における生活遺跡の実態と共に、当時の漆が、縄文時代前期の段階で確立していた可能性を示すものとして、学術的価値が高いものである。

## 重要文化財指定品一覽

|             |      |          |
|-------------|------|----------|
| 彩漆土器        | 6 箇分 | 国（文化庁保有） |
| 山形県押出遺跡出土   |      |          |
| 附 彩漆土器残欠    | 4 箇分 | 国（文化庁保有） |
| 山形県押出遺跡出土品  | 一括   | 山形県保有    |
| 1 土器類       |      |          |
| 深鉢形土器       | 28箇  |          |
| 鉢形土器        | 1箇   |          |
| 台付鉢形土器      | 1箇   |          |
| 残鉢形土器       | 1箇   |          |
| 小形土器        | 23箇  |          |
| 1 異形土製品     | 4箇   |          |
| 1 石器・石製品類   |      |          |
| 磨製石斧        | 16箇  |          |
| 打製石斧        | 4箇   |          |
| 石匙          | 32箇  |          |
| 石槍          | 132本 |          |
| 石鏃          | 262本 |          |
| 搔器          | 196箇 |          |
| 石錐          | 150箇 |          |
| 籠状石器        | 22箇  |          |
| 三脚石器        | 1箇   |          |
| 異形石器        | 23箇  |          |
| 磨石          | 20箇  |          |
| 凹石          | 20箇  |          |
| 石皿          | 5箇   |          |
| 砥石          | 12箇  |          |
| 石製装飾品       | 9箇   |          |
| 小形石棒        | 2箇   |          |
| 1 木製品類      |      |          |
| 赤漆櫛残欠       | 4箇   |          |
| 盤残欠         | 16箇  |          |
| 杓子残欠        | 2箇   |          |
| 石斧柄欠        | 2箇   |          |
| 櫛           | 1本   |          |
| 手網杵         | 1本   |          |
| 籠状木製品等      | 12箇  |          |
| 1 樹皮製品残欠    | 1箇   |          |
| 1 編物残欠      | 一括   |          |
| 1 炭化食品（残欠共） | 52箇分 |          |
| 附           |      |          |
| 1 漆付着土器残欠   | 一括   |          |
| 1 彩文土器残欠    | 一括   |          |

## 4. 資料の活用

### ・館内利用（写真撮影）の状況

| 資料名      | 遺跡と時代         | 用途    | 期日           | 目的                   |
|----------|---------------|-------|--------------|----------------------|
| 遮光器土偶    | 宮の前遺跡（縄文・晩期）  | 写真撮影  | 8.8.20～10.31 | 展示解説書掲載              |
| 遮光器土偶    | 宮の前遺跡（縄文・晩期）  | 展 示   | 8.9.17～12.13 | 企画展展示<br>（東北歴史資料館）   |
| 土 偶      | 西海淵遺跡（縄文・中期）  |       |              |                      |
| 隆線文土器破片  | 日向洞窟遺跡（縄文草創期） | 展 示   | 8.9.27～12.10 | 特別展展示<br>（横浜市立歴史博物館） |
| 石 器      | 押出遺跡（縄文・前期）   |       |              |                      |
| クッキー状炭化物 | 押出遺跡（縄文・前期）   | 印刷物掲載 | 9.2.26～3.20  | 多賀城市史掲載              |
| クッキー状炭化物 | 押出遺跡（縄文・前期）   | 展 示   | 9.3.13～6.30  | 企画展展示<br>（福島県立博物館）   |
| 炭化物付着石皿  |               |       |              |                      |
| ク リ      |               |       |              |                      |
| ク ル ミ    |               |       |              |                      |
| ヒ シ の 実  |               |       |              |                      |
| ト チ の 実  |               |       |              |                      |

### ・刊行物一覧

平成8年4月1日から平成9年3月31日までの刊行状況は、下記のとおりである。

| 書 名                     | 発行日        |
|-------------------------|------------|
| 第5回企画展図録 山形の古代窯業遺跡      | 平成8年4月27日  |
| 館 報 うきたむ7号              | 平成8年5月10日  |
| 第3回特別展図録 縄文のタイムカプセル押出遺跡 | 平成8年10月1日  |
| 館 報 うきたむ8号              | 平成8年10月20日 |

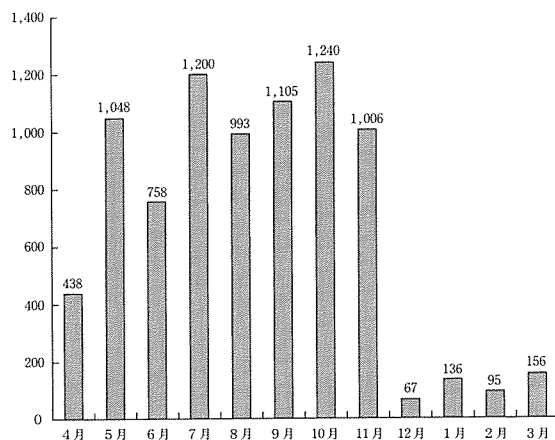
## 5. 入 館 状 況

### 平成8年度 月別入館者一覧表

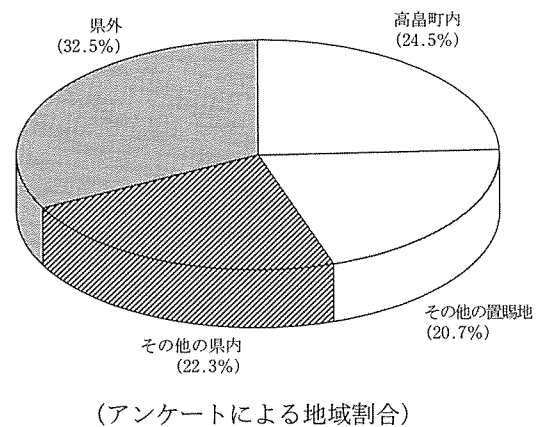
(人)

| 月分  | 有料入館者数 (人) |       |     |       |       | 無料入館者数 (人) |       |         |       |       | 合 計   |
|-----|------------|-------|-----|-------|-------|------------|-------|---------|-------|-------|-------|
|     | 個 人        |       | 団 体 |       | 計     | 減 免 者 数    |       | 視 察 其 他 |       | 計     |       |
|     | 一 般        | 児 童 等 | 一 般 | 児 童 等 |       | 一 般        | 児 童 等 | 一 般     | 児 童 等 |       |       |
| 4   | 158        | 60    | 0   | 0     | 218   | 10         | 175   | 33      | 2     | 220   | 438   |
| 5   | 356        | 151   | 2   | 39    | 548   | 115        | 233   | 104     | 48    | 500   | 1,048 |
| 6   | 214        | 14    | 185 | 109   | 522   | 22         | 40    | 122     | 52    | 236   | 758   |
| 7   | 209        | 37    | 120 | 0     | 366   | 54         | 547   | 188     | 45    | 834   | 1,200 |
| 8   | 371        | 196   | 0   | 0     | 567   | 133        | 88    | 200     | 5     | 426   | 993   |
| 9   | 214        | 18    | 197 | 0     | 429   | 164        | 395   | 106     | 11    | 676   | 1,105 |
| 10  | 449        | 47    | 88  | 0     | 584   | 320        | 127   | 209     | 0     | 656   | 1,240 |
| 11  | 273        | 33    | 64  | 0     | 370   | 252        | 200   | 172     | 12    | 636   | 1,006 |
| 12  | 59         | 1     | 0   | 0     | 60    | 6          | 0     | 1       | 0     | 7     | 67    |
| 9.1 | 59         | 4     | 3   | 25    | 91    | 31         | 0     | 13      | 1     | 45    | 136   |
| 2   | 42         | 4     | 0   | 0     | 46    | 0          | 0     | 47      | 2     | 49    | 95    |
| 3   | 84         | 23    | 0   | 0     | 107   | 30         | 2     | 17      | 0     | 49    | 156   |
| 計   | 2,488      | 588   | 659 | 173   | 3,908 | 1,137      | 1,807 | 1,212   | 178   | 4,334 | 8,242 |

#### 平成8年度月別入館者



#### 地域別入館者の割合



## 主な入館団体一覧

| 月日   | 団体名              | 人数  | 月日    | 団体名               | 人数  |
|------|------------------|-----|-------|-------------------|-----|
| 4.30 | 米沢市立第四中学校        | 180 | 10.13 | 地域における医療保健福祉を考える会 | 90  |
| 5.1  | 米沢市立上郷中学校        | 74  | 10.15 | 川西町社会教育課          | 29  |
| 5.8  | 南陽市小学校教育研究会6学年部会 | 17  | 10.17 | 山辺町教育委員会          | 17  |
| 5.10 | 高島町立第一中学校        | 81  | 10.17 | 全国私立学校研修          | 42  |
| 5.15 | 宮城県仙台市立宮城野中学校    | 41  | 10.17 | 東置賜郡民生児童委員女性部     | 51  |
| 5.16 | 天童市立寺津小学校        | 58  | 10.23 | 余目町教育委員会          | 7   |
| 5.24 | 村山市立大倉小学校        | 32  | 10.24 | 山形市福祉文化センター       | 28  |
| 5.24 | 置賜地区統計調査委員会      | 85  | 10.25 | 山形県立高島高等学校        | 45  |
| 6.14 | 山形大学地球環境学科       | 45  | 10.26 | 南陽市史跡巡り           | 65  |
| 6.18 | 東南置賜地区交通安全専門指導員  | 19  | 11.2  | NHK文化センター泉教室      | 20  |
| 6.22 | 高島町屋代地区ジュニアクラブ   | 50  | 11.5  | 宮城県築館町視察          | 25  |
| 7.2  | 山形県立米沢工業高等学校     | 162 | 11.5  | 中山町年金者連盟          | 17  |
| 7.3  | 山形県立米沢工業高等学校     | 165 | 11.6  | 山形県立山形盲学校         | 10  |
| 7.4  | 山形県農業試験場         | 22  | 11.6  | 飯豊町ふるさと学園         | 19  |
| 7.17 | 山形県立山形聾学校        | 4   | 11.9  | 高島町屋代地区公民館        | 14  |
| 7.19 | 山形県立高島高等学校       | 37  | 11.14 | 県政ふるさと号           | 44  |
| 7.19 | 最上教育事務所          | 9   | 11.14 | 高島町屋代地区アベマキ大学     | 68  |
| 7.27 | 天童市荒谷子供育成会       | 20  | 11.15 | 米沢市簡易水道事業協会       | 24  |
| 7.28 | 南陽市立宮内小学校        | 150 | 11.20 | 米沢市中央公民館          | 12  |
| 7.31 | 寒河江市少年少女郷土史講座    | 50  | 11.21 | 山形県立置賜農業高等学校      | 77  |
| 7.31 | 東置賜社会科研究部会       | 39  | 11.21 | 宮城県丸森町教育委員会       | 15  |
| 8.8  | 米沢市立南原中学校        | 111 | 11.22 | 山形県立置賜農業高等学校      | 107 |
| 8.27 | 高島町糠野目地区高砂大学     | 60  | 11.24 | 高島町屋代部落公民館連絡協議会   | 13  |
| 9.12 | 山形県立小国高等学校       | 61  | 11.29 | 羽黒町教育委員会          | 8   |
| 9.19 | 山形県立長井高等学校       | 250 | 11.30 | 福島県いわき市教育文化事業団    | 20  |
| 9.27 | 山形市立山寺小学校        | 35  | 12.2  | 麦の会               | 16  |
| 9.28 | 高島町立屋代小学校        | 115 | 1.7   | 上山市上山学童保育所        | 28  |
| 9.29 | やまがた家族遠足         | 90  | 1.29  | 米沢建設事務所           | 17  |
| 10.2 | 天童市退職校長会         | 12  | 1.21  | 高島町和田地区ミセス講座      | 31  |
| 10.4 | 櫛引町観光協会          | 13  | 3.20  | 高島町シルバーガイド研修      | 30  |

## 来観者アンケート

このアンケートは、平成8年度のアンケート等を回収して、その結果をまとめたものである。

### (1) 展示全般に関する意見

- ◎ 日本の昔の暮らしが身近に感じられた。非常に興味深いものがあった。手動でも自動でも何か動きのある模型があればもっと面白いと思いました。(30代 男性)
- ◎ 展示コメントが横書きですから、順路は左回りが妥当だと思います。進行方向と文章の流れが反対方向なのは改善すべきだと思います。(50代 男性)
- ◎ 展示室の照明が暗く、説明文が読み取りにくい箇所があります。歴史の重さの演出効果と思いますが、ご検討ください。(50代 女性)
- ◎ 展示物が全て同じようなものなので、出た場所又は時代による特長のような説明があれば良い。また、年代(何年位前)を記入してほしい。(50代 男性)
- ◎ 復元住居の音声による説明(生活の様子の説明)があるといいと思います。(40代 男性)
- ◎ 子供には難しいようです。ビデオ(マンガ)などで、当時の暮らしなどがあつたら良かった。(20代 女性)

### (2) 施設全般に関する意見

- ◎ すばらしい施設です。もっとPRして見学者を多くしてほしいと思う。(40代 女性)
- ◎ 非常に綺麗に整備されていて気持ちの良い所です。(40代 男性)
- ◎ 石器や土器など手で直接ふれることのできるコーナーがあればいいと思います。(20代 女性)
- ◎ 規模は大きくないものの、内容はていねいで充実したものがあり勉強になりました。この土地にこれほど多くの史跡があることに改めて大変驚きを感じております。これからもどうぞ守り続けてください。(20代 女性)
- ◎ 歴史(考古)に関する講演をもっと開いて下さい。(40代 男性)

### (3) その他の意見

- ◎ 昔の暮らしや実際に使っていた道具などがわかり、良かったです。火おこしなどの体験は意外と大変でした。(10代 男性)
- ◎ 絵などで昔の生活ぶりが見られ、イメージが浮かぶようです。周辺の古墳・洞くつの場所などが分かりやすく表示されていると、見学できると思う。(40代 男性)
- ◎ 地元こんなに遺跡や古墳があるなんて知らなかった。内部を調べていないものが多数あるようなので、早く調査してもらいたいし、もっと全国的にアピールできれば良いのになと思いました。(20代 女性)

- ◎ 置賜盆地の有史以来の自然及び人間の移り変わりが分かるように展示してほしい。(50代 男性)
- ◎ 日本国内の有名遺跡との年代比較表でもあれば、分かりやすい。(20代女性)
- ◎ ビデオの中身は、生活形態等も映した方がよい。また、コンピュータグラフィックを利用するのもよい。(60代 男性)

#### (4) 会科見学后感想

(山形県立山形聾学校)

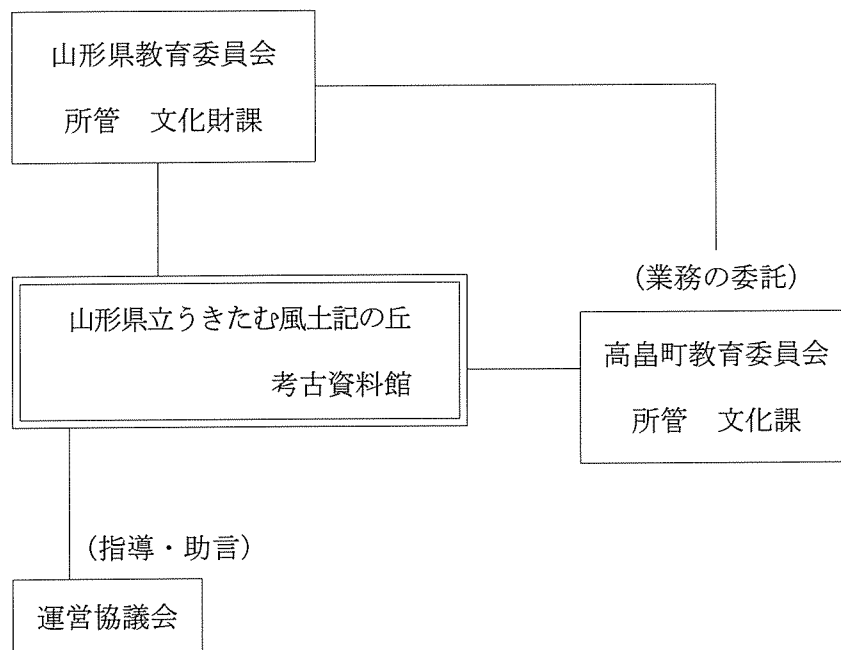
- ◎ ぼくはちょっと不思議なことがあったのですが、底に穴のあるつぼがどういうことかわからなかったけど、「多分、何かを入れてちよくせつ火をあてて何か食べていたんじゃないのかな」と思いました。ぼくもつぼをつくってみたいなあと思いました。どうやって作ったのかわからないけれど、写真をみたらなるほどと思いました。これからもずっと土器なかけらとかを見つけてください。
- ◎ 一番気に入ったのは、豪族や女の人々の遺体と勾玉です。ぼくが前に読んだ本にはヤマトタケルが使っていたと書いてありました。なんのために使ったかはわかりません。もう何年も前のものなのにきれいでした。
- ◎ 米をいれるつぼや骨をいれるつぼや食べ物をいれるつぼもあっていろいろ使い分けられているなあと思いました。
- ◎ 山形にはいっぱい古墳があって、時代がたつにつれてどんどんふえていっているみたいでした。「すごくいっぱい古墳がある」と思いました。いろいろな古墳へ行ってみたいなあ」と思いました。

(南陽市立中川小学校)

- ◎ たくさん説明してくれてありがとうございました。教科書や資料集で見られないところもたくさんあって、縄文クッキーに入っているものが書いてあったり、土偶が書いてあったりしました。
- ◎ 古墳のことやクッキーのことなどを教えていただきありがとうございます。おかげで社会などでわからなかったことを資料などを見て迷わずに問題を解くことができそうです。

## 6. 管理及び運営

### (1) 組織・職員



山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

| 職名     | 氏名      | 住所            | 電話番号         | 備考 |
|--------|---------|---------------|--------------|----|
| 館長(嘱託) | 川崎 利夫   | 天童市中里2-3-12   | 0236-55-2693 |    |
| 主事     | 鈴木 栄一   | 高島町大字亀岡 3913  | 0238-52-2862 |    |
| 主事     | 島津 美智雄  | 高島町大字竹森 4467  | 0238-52-0283 |    |
| 嘱託     | 宇佐美 みふゆ | 高島町大字下和田 674  | 0238-56-3070 |    |
| 臨時職員   | 阿部 由紀子  | 高島町大字二井宿 5388 | 0238-52-3745 |    |



## (2) 運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

| 氏名    | 住所            | 自宅電話番号       | 備考                             |
|-------|---------------|--------------|--------------------------------|
| 安彦好重  | 山形市北山形1-6-8   | 0236-44-9246 | 山形県文化財保護協会会長                   |
| 佐藤鎮雄  | 南陽市三間通1278    | 0238-40-2053 | 南陽市立中川中学校長                     |
| 菅井敬一郎 | 南陽市宮内3652     | 0238-47-2660 | 南陽市教育委員                        |
| 浜田清明  | 米沢市東3-5-22    | 0238-23-2318 | 山形県文化財保護協会理事                   |
| 舟山豊弘  | 米沢市矢来2-6-20   | 0238-22-4075 | 米沢市教育委員会文化課長<br>山形県博物館連絡協議会副会長 |
| 山崎正   | 高島町大字高島1543-7 | 0238-52-1013 | 高島町立郷土資料館長                     |
| 吉野智雄  | 上山市須田坂22      | 0236-74-2946 | 上山市立図書館長                       |

委員長 浜田 清明      副委員長 吉野 智雄

[今年度の運営協議会]

第1回 開催期日 1月30日 本館研修室

会議内容 (1) 平成8年度の本館事業報告  
(2) 平成9年度の考古資料館の展示計画について  
(3) その他

第2回 開催期日 3月25日 本館研修室

会議内容 (1) 平成9年度の事業計画について  
(2) その他

## 7. まほろば古の里整備事業

県立考古資料館の東側約9ha敷地に「まほろば古の里」高島町歴史公園の整備を進めております。

この事業は、平成2年の「高島町歴史公園基本計画」に基づき、平成3年度より平成9年度にかけて、多くの歴史・風土的資源の保存とあわせ原始・古代からの歴史や文化を理解するための歴史公園施設として整備するものです。

### [事業内容]

平成8年度は、創造の館基礎工事、あずま屋の建築、野焼き広場、園路、管理用道路、中央広場等の整備事業を行いました。

平成9年度には、創造の館の建設、登り窯、野外ステージ、縄文住居復元、アヤマ園等が整備され事業を終了します。

### [ソフト事業]

県立考古資料館との共催により、考古学入門講座、縄文月見の宴、縄文土面・土笛づくり教室、風土記の丘写生大会を開催しました。中でも、風土記の丘写生大会は、初めての試みでしたが、参加者は安久津八幡神社の三重の塔を中心に描き、素晴らしい作品を描いていました。

### [創造の館]

平成9年度に完成する創造の館については、創造活動室と陶芸実習室があり、学習機能や創造体験を中心に遊び感覚で楽しみながら学習できる施設として開館します。

家族や団体など気軽に立ち寄り、簡単な体験活動ができるよう整備していきます。



(創造の館完成予想図)

## 8. 受贈資料・図書・書籍

### 館報・年報類

| No. | 書 籍 名 (資料名)             | 発 行 者 名          |
|-----|-------------------------|------------------|
| 1   | 天童廣重 広重美術館準備室ニュース第2号    | 広重美術館準備室         |
| 2   | 斎藤茂吉記念館年報 平成7年度         | 斎藤茂吉記念館          |
| 3   | 最上義光歴史館だより Vol.3        | 財) 最上義光歴史館       |
| 4   | 年報 平成7年度                | 山形県埋蔵文化財センター     |
| 5   | 山形県立博物館ニュース 第126～128号   | 山形県立博物館          |
| 6   | 山形県立博物館報 平成8年度-平成7年度実績- | 山形県立博物館          |
| 7   | 山形市 野草園だより 7～9号         | 山形市野草園           |
| 8   | 山形大学付属博物館報22            | 山形大学付属博物館        |
| 9   | 芭蕉記念館だより No.4～5         | 山寺芭蕉記念館          |
| 10  | 長井市古代の丘資料館館報 第3号        | 長井市古代の丘資料館       |
| 11  | 米沢市上杉博物館年報 Vol.7        | 米沢市教育委員会         |
| 12  | 米沢市文化財年報 No.9           | 米沢市教育委員会         |
| 13  | 農業博物館だより No.60～61       | 岩手県立農業博物館        |
| 14  | 岩手県立博物館だより No.69～72     | 岩手県立博物館          |
| 15  | 博物館だより No.63            | 群馬県立歴史博物館        |
| 16  | 博物館だより No.79～83         | 斎藤報恩会自然史博物館      |
| 17  | 三内丸山通信 創刊号              | 三内丸山遺跡対策室        |
| 18  | 秋田県立博物館 20年のあゆみ         | 秋田県立博物館          |
| 19  | 秋田県立博物館 館報 平成7年度        | 秋田県立博物館          |
| 20  | 秋田県立博物館ニュース No.104～106  | 秋田県立博物館          |
| 21  | 仙台市博物館年報 第23号           | 仙台市博物館           |
| 22  | 地底の森ミュージアム通信 1～2        | 地底の森ミュージアム       |
| 23  | 多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 平成6年度 | 多賀城市埋蔵文化財調査センター  |
| 24  | 地底の森ミュージアム 要覧           | 地底の森ミュージアム       |
| 25  | 東北歴史資料館年報 平成7年度         | 東北歴史資料館          |
| 26  | 東北歴史資料館報 第25号           | 東北歴史資料館          |
| 27  | 苫小牧市博物館だより No.34～36     | 苫小牧市博物館          |
| 28  | 年報 平成7年度版               | 苫小牧市博物館          |
| 29  | 玉里村立史料館報 Vol.1          | 茨城県玉里村立史料館       |
| 30  | 平成7年度運営要覧               | 茨城県立歴史館          |
| 31  | 横浜市歴史博物館 NEWS 4         | 横浜市歴史博物館         |
| 32  | 国立歴史民俗博物館 要覧            | 国立歴史民俗博物館        |
| 33  | 歴博 76～80                | 国立歴史民俗博物館        |
| 34  | 江戸東京博物館 Vol.13～16       | 財) 江戸東京歴史財団      |
| 35  | 江戸東京 たてももの園だより7～8       | 財) 東京都歴史文化財団     |
| 36  | 年報 16 平成7年度             | 埼玉県埋蔵文化財調査団      |
| 37  | 要覧                      | 埼玉県埋蔵文化財調査団      |
| 38  | さきたま No.8               | 埼玉県立さきたま資料館      |
| 39  | 資料館報 No.27 1996         | 埼玉県立さきたま資料館      |
| 40  | 埼玉県立自然史博物館報 第7～8号       | 埼玉県立自然史博物館       |
| 41  | 自然史だより 21～27            | 埼玉県立自然史博物館       |
| 42  | 地下からのたより 95             | 山梨県埋蔵文化財センター     |
| 43  | 市立市川考古博物館年報 第23号        | 市立市川考古博物館        |
| 44  | 松戸市博物館年報 第2号 平成6年度      | 松戸市立博物館          |
| 45  | 桜土手古墳展示館だより Vol.12～13   | 神奈川県秦野市立桜土手古墳展示館 |
| 46  | なりた No.64・65            | 成田山霊光館           |
| 47  | 文化財かわら版 第6～7号           | 千葉県山武郡市文化財センター   |
| 48  | 房総風土記の丘だより 第32～33号      | 千葉県立房総風土記の丘      |
| 49  | 長野県立歴史館だより Vol.7～8      | 長野県立歴史館          |

| No. | 書籍名(資料名)                    | 発行者名                 |
|-----|-----------------------------|----------------------|
| 50  | MUSEUM No.541～544           | 東京国立博物館              |
| 51  | 東京都埋蔵文化財センター年報 16           | 東京都埋蔵文化財センター         |
| 52  | 栃木県埋蔵文化財保護行政年報 18 1994      | 栃木県教育委員会             |
| 53  | 栃木県文化振興事業団年報 平成7年度          | 栃木県文化振興事業団           |
| 54  | やまかいどう No.14 栃木県埋蔵文化財センター通信 | 栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター |
| 55  | 埋蔵文化財センター年報 第6号 平成8年度       | 栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター |
| 56  | 栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第3～4号      | 栃木県立なす風土記の丘資料館       |
| 57  | 岐阜県博物館だより Vol.21 第59～61号    | 岐阜県博物館               |
| 58  | 岐阜県博物館報 第19号                | 岐阜県博物館               |
| 59  | NHK 長岡市立科学博物館報 No.69        | 長岡市立科学博物館            |
| 60  | たてはく 第15～16号                | 富山県立山博物館             |
| 61  | 年報 富山県立山博物館 1996年第5号        | 富山県立山博物館             |
| 62  | 名古屋市見晴台考古資料館 年報13 平成7年度事業報告 | 名古屋市見晴台考古資料館         |
| 63  | リトルワールド No.57～60            | 野外民族博物館リトルワールド(愛知)   |
| 64  | リトルワールド 年報 第18号 1995年度      | 野外民族博物館リトルワールド(愛知)   |
| 65  | 丹後郷土資料館だより 第32号             | 京都府立丹後郷土資料館          |
| 66  | 滋賀埋文ニュース 第192～号             | 滋賀県埋蔵文化財センター         |
| 67  | 滋賀埋文ニュース 第193～203号          | 滋賀県埋蔵文化財センター         |
| 68  | おおてみち 第15～18号               | 滋賀県立安土城考古博物館         |
| 69  | 滋賀県立安土城考古博物館 平成7年度 年報       | 滋賀県立安土城考古博物館         |
| 70  | うみんど 湖人 創刊号                 | 滋賀県立琵琶湖博物館           |
| 71  | 滋賀県立琵琶湖博物館 要覧               | 滋賀県立琵琶湖博物館           |
| 72  | アスカディア・古墳の森 Vol.4～5         | 大阪府立 近つ飛鳥博物館         |
| 73  | 大阪府立近つ飛鳥博物館 館報1             | 大阪府立 近つ飛鳥博物館         |
| 74  | 館報 1995                     | 兵庫県立歴史博物館            |
| 75  | 兵庫 歴史ニュース No.55～56          | 兵庫県立歴史博物館            |
| 76  | 紀伊風土記の丘年報 平成6年度             | 和歌山県立紀伊風土記の丘管理事務所    |
| 77  | 歴風 第13～15号                  | みよし風土記の丘ミュージアム       |
| 78  | 吉備路郷土館 No.19                | 岡山県立吉備路郷土館・風土記の丘     |
| 79  | ひろしまの遺跡 第65～67号             | 財)広島県埋蔵文化財センター       |
| 80  | 八雲立つ風土記の丘 No.134～142        | 島根県八雲立つ風土記の丘         |
| 81  | 愛媛県歴史文化博物館だより 第6～8号         | 愛媛県歴史文化博物館           |
| 82  | 愛媛県歴史文化博物館年報 平成7年度          | 愛媛県歴史文化博物館           |
| 83  | 高知県立歴史民俗資料館だより 第19～22号      | 高知県立歴史民俗資料館          |
| 84  | 高知県立歴史民俗資料館年報 No.5          | 高知県立歴史民俗資料館          |
| 85  | 下関市立考古博物館年報1 平成7年度          | 下関市立考古博物館            |
| 86  | 九州歴史資料館年報 平成7年度             | 九州歴史資料館              |
| 87  | 九歴だより No.3～4                | 九州歴史資料館              |
| 88  | 佐賀県立博物館・美術館 年報 No.25～26     | 佐賀県立博物館・美術館          |
| 89  | 佐賀県立博物館・美術館報 No.111～114     | 佐賀県立博物館・美術館          |
| 90  | 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 1995       | 大分県宇佐風土記の丘歴史民俗資料館    |
| 91  | USM No.39～41                | 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館   |
| 92  | 海のはくぶつかん Vol.26/27 No.2～6/1 | 東海大学海洋科学博物館          |
| 93  | 明治大学博物館 年報 1995年度           | 明治大学博物館              |

### 報告書類

| No. | 書籍名(資料名)                  | 発行者名          |
|-----|---------------------------|---------------|
| 1   | 中日共同尼雅遺跡学術調査報告書第1巻        | 日中共同ニヤ遺跡学術調査隊 |
| 2   | 寒河江市 第11集 市内遺跡 発掘調査報告書(3) | 寒河江市教育委員会     |
| 3   | 寒河江市 第12集 田代水上遺跡          | 寒河江市教育委員会     |
| 4   | 高島町 埋文調査報告書第2集 台の畑遺跡      | 高島町教育委員会      |
| 5   | 高島町 埋文調査報告書第4集            | 高島町教育委員会      |

| No. | 書 籍 名 (資料名)                          | 発 行 者 名        |
|-----|--------------------------------------|----------------|
| 6   | 山形県中世城館遺跡調査報告書 第1集                   | 山形県教育委員会       |
| 7   | 山形県埋文調査報告書第194～197集                  | 山形県教育委員会       |
| 8   | 山形県 第30～38集                          | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 9   | 山形城跡本丸堀発掘調査概要                        | 山形市教育委員会       |
| 10  | 村山市 西原C遺跡 発掘調査報告書                    | 村山市教育委員会 (山形)  |
| 11  | 中山町 埋文調査報告書第2集                       | 中山町教育委員会       |
| 12  | 長井市 埋文調査報告書第13集 報告書(4)               | 長井市教育委員会       |
| 13  | 白鷹町 埋文調査報告書第1集                       | 白鷹町教育委員会       |
| 14  | 白鷹町 埋文調査報告書第2集                       | 白鷹町教育委員会       |
| 15  | 米沢市 第52集 遺跡詳細分布調査報告書第9集              | 米沢市教育委員会       |
| 16  | 米沢市 第53集 一ノ坂遺跡                       | 米沢市教育委員会       |
| 17  | 岩手 第97集 県内遺跡発掘調査報告書                  | 岩手県教育委員会       |
| 18  | 秋田県 261・263～266集                     | 秋田県教育委員会       |
| 19  | 多賀城市文化財調査報告書 第41～42集                 | 多賀城市教育委員会      |
| 20  | 平成8年度 「かわらけ編年の再検討-11世紀から19世紀」(2)     | 福島県考古学会        |
| 21  | 三春町文化財調査報告書第23集 近世追手門前通遺跡群C地点        | 福島県三春町教育委員会    |
| 22  | 横浜市歴史博物館民俗調査報告書第1集                   | 横浜市歴史博物館       |
| 23  | 印旛郡市 第90・95・106・113～115・118・121・129集 | 財) 印旛郡市文化財センター |
| 24  | 山武郡市 第16・25・26・28・33～35・41集          | 財) 山武郡市文化財センター |
| 25  | 東総文化財センター 第3・7～9・11集                 | 財) 東総文化財センター   |
| 26  | 埼玉県埋文調査事業団報告書 第165・166集              | 埼玉県埋蔵文化財調査事業団  |
| 27  | 調査研究報告書第9号                           | 埼玉県立さきたま資料館    |
| 28  | 神奈川県指定史跡 馬絹古墳保存整備・活動事業報告書            | 川崎市教育委員会       |
| 29  | 川崎市東柿生小学校内遺跡発掘調査報告書                  | 川崎市教育委員会       |
| 30  | 東京都埋文調査報告 第30～36集 尾張藩上屋敷遺跡I          | 東京都埋蔵文化財センター   |
| 31  | 栃木県 第138・168～173・176・177・185集        | 栃木県教育委員会       |
| 32  | 川崎市 南谷一遺跡発掘調査報告書                     | 南谷一遺跡発掘調査団     |
| 33  | 中条町埋文調査報告書第9・10集                     | 新潟県中条町教育委員会    |
| 34  | 大津遺跡                                 | 石川県立埋蔵文化財センター  |
| 35  | 宅田上野山遺跡                              | 輪島市教育委員会       |
| 36  | 能登川町舞文調査報告書第40集 正楽寺遺跡                | 滋賀県能登川町教育委員会   |
| 37  | 甘木市文化財調査報告書第33～39集                   | 甘木市教育委員会       |

### 調査説明資料

| No. | 書 籍 名 (資料名)              | 発 行 者 名        |
|-----|--------------------------|----------------|
| 1   | 平成5年度京都市埋文調査概要           | 財) 京都市埋蔵文化財研究所 |
| 2   | 汐留遺跡 発掘調査概要II            | 財) 東京都教育文化財団   |
| 3   | 尾張藩上屋敷跡遺跡 発掘調査概要IV       | 財) 東京都教育文化財団   |
| 4   | 米沢市 荒川2遺跡 第2次調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 5   | 山形市 北柳1・2遺跡調査説明資料        | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 6   | 遊佐町 上高田遺跡 第2次調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 7   | 高島町 宮下遺跡 調査説明資料          | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 8   | 西川町 睦合館跡 第2次調査説明資料       | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 9   | 米沢市 西町田下遺跡 調査説明資料        | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 10  | 寒河江市 三条遺跡 第3次調査説明資料      | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 11  | 寒河江市 高瀬山遺跡 SA 第2次調査説明資料  | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 12  | 寒河江市 高瀬山遺跡(2期) 第3次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 13  | 寒河江市 高瀬山遺跡(1期) 第3次調査説明資料 | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 14  | 南陽市 植木場一遺跡 調査説明資料        | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 15  | 平成6年度京都市埋蔵文化財調査概要        | 京都市埋蔵文化財研究所    |
| 16  | 寒河江市 高瀬山遺跡 HO 予備調査説明資料   | 山形県埋蔵文化財センター   |
| 17  | 史跡城輪柵跡                   | 酒田市教育委員会       |

紀要等

| No. | 書 籍 名 (資料名)            | 発 行 者 名                |
|-----|------------------------|------------------------|
| 1   | 山形県立博物館研究報告 第16・17号    | 山形県立博物館                |
| 2   | 山形県立博物館収蔵資料目録 植物資料目録3  | 山形県立博物館                |
| 3   | 平成6年度琵琶沼緊急調査報告書 地学・動物  | 山形県立博物館                |
| 4   | 岩手県立博物館収蔵資料目録 第11集 考古Ⅲ | 岩手県立博物館                |
| 5   | 縄文発信 関連事業報告            | 岩手県立博物館                |
| 6   | 紀要 XV                  | 財)岩手県立文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 7   | 秋田県立博物館研究報告 第21号       | 秋田県立博物館                |
| 8   | 仙台市博物館収蔵資料目録Ⅷ          | 仙台市博物館                 |
| 9   | 仙台市博物館調査研究報告書 第16号     | 仙台市博物館                 |
| 10  | 地底の森ミュージアム常設展示案内       | 地底の森ミュージアム             |
| 11  | 研究紀要第15・22巻            | 東北歴史資料館                |
| 12  | 高森遺跡Ⅲ                  | 東北歴史資料館                |
| 13  | 研究報告 第6号               | 苫小牧市博物館                |
| 14  | 資料目録10 海産貝類資料目録        | 苫小牧市博物館                |
| 15  | 福島考古 第36号              | 福島県考古学会                |
| 16  | ひたちなか市の埋蔵文化財           | ひたちなか市埋蔵文化財調査センター      |
| 17  | 茨城県立歴史館ガイドブック          | 茨城県立歴史館                |
| 18  | 常設展示解説 茨城の歴史をさぐる       | 茨城県立歴史館                |
| 19  | 横浜市歴史博物館 常設展示案内        | 横浜市歴史博物館               |
| 20  | 横浜市歴史博物館資料集 第2集        | 横浜市歴史博物館               |
| 21  | 研究紀要 13                | 群馬県埋蔵文化財調査事業団          |
| 22  | 江戸東京博物館要覧 1996         | 江戸東京博物館                |
| 23  | 横浜市歴史博物館史料集 第1集        | 財)横浜市ふるさと歴史財団          |
| 24  | 横浜市歴史博物館資料目録 第2・3集     | 財)横浜市ふるさと歴史財団          |
| 25  | 埼玉県立自然史博物館研究報告 第12・13号 | 埼玉県立自然史博物館             |
| 26  | 埼玉県立自然史博物館収蔵資料目録第8・9集  | 埼玉県立自然史博物館             |
| 27  | 下総国分寺                  | 市立市川考古博物館              |
| 28  | 松戸市博物館紀要 第2・3号         | 松戸市立博物館                |
| 29  | 千葉市立加曾利貝塚博物館紀要 第23号    | 千葉市立加曾利貝塚博物館           |
| 30  | 川崎市文化財調査集録 30・31       | 川崎市教育委員会               |
| 31  | 長野県立歴史館 研究紀要           | 長野県立歴史館                |
| 32  | MUSEUM No.541・542      | 東京国立博物館研究誌             |
| 33  | 資料目録 8                 | 東京都埋蔵文化財センター           |
| 34  | 研究紀要 第4号               | 栃木県文化振興事業団             |
| 35  | 蝦夷社会と東国の交流             | 平野卓治                   |
| 36  | 明治博物館研究報告 第1号          | 明治大学博物館事務室             |
| 37  | 博物館学紀要 第20輯 1995       | 國學院大學博物館研究室            |
| 38  | 岐阜県博物館調査研究報告 第17号      | 岐阜県博物館                 |
| 39  | 研究紀要                   | 富山県立山博物館               |
| 40  | 見晴台遺跡第32次・第33次発掘調査の記録  | 名古屋市見晴台考古資料館           |
| 41  | 見晴台教室 '94・95           | 名古屋市見晴台考古資料館           |
| 42  | 研究紀要 第3号               | 京都市埋蔵文化財研究所            |
| 43  | 京都発掘20年                | 財)京都市埋蔵文化財研究所          |
| 44  | 財)京都市埋蔵文化財研究所 研究紀要     | 財)京都市埋蔵文化財研究所          |
| 45  | 紀要 第4号                 | 滋賀県立安土城考古博物館           |
| 46  | 正倉院目録                  | 奈良国立博物館                |
| 47  | 研究輯録Ⅵ                  | 広島県埋蔵文化財調査センター         |
| 48  | 愛媛県歴史文化博物館 紀要 第1号 1996 | 愛媛県歴史文化博物館             |
| 49  | 研究紀要第5号                | 高知県立歴史民俗資料館            |
| 50  | 下関市立考古博物館 常設展示図録       | 下関市立考古博物館              |
| 51  | 甘木市の文化財 第二版            | 甘木市教育委員会               |

図録類

| No. | 書籍名(資料名)                  | 発行者名               |
|-----|---------------------------|--------------------|
| 1   | 海の縄文                      | 長井市古代の丘資料館         |
| 2   | 幕末期の名刀展                   | 米沢市上杉博物館           |
| 3   | ふるさとの山河を描く                | 山形県文翔館             |
| 4   | 絵図をよむ 描かれた近世秋田の地理         | 秋田県立博物館            |
| 5   | 秋田の先覚記念室                  | 秋田県立博物館            |
| 6   | 真澄紀行                      | 秋田県立博物館            |
| 7   | 氷河期を生きる                   | 地底の森ミュージアム         |
| 8   | 東北地方の土偶                   | 東北歴史資料館            |
| 9   | ちば3万年の遺産ー房総の人と用具ー         | ちば県立房総風土記の丘        |
| 10  | 企画展 海に暮らす縄文の人             | 茨城県玉里村立史料館         |
| 11  | 一橋徳川家の人形                  | 茨城県立歴史館            |
| 12  | 鉄の意匠ー水戸刀と刀装具の名品ー          | 茨城県立歴史館            |
| 13  | 史跡大塚・歳勝土遺跡                | 横浜市教育委員会           |
| 14  | 開館記念特別展 弥生のいくさと環濠集落       | 横浜市歴史博物館           |
| 15  | 港北ニュータウン地域の暮らし            | 横浜市歴史博物館           |
| 16  | 収蔵資料展 I 旅・東海道・金沢八景        | 横浜市歴史博物館           |
| 17  | 東海道と神奈川宿                  | 横浜市歴史博物館           |
| 18  | 縄文時代草創期 資料集               | 横浜市歴史博物館           |
| 19  | 縄文文化誕生                    | 横浜市歴史博物館           |
| 20  | 幻の縄文土器の時代 都筑区桜並遺跡の発掘調査の成果 | 横浜市歴史博物館 埋蔵文化財センター |
| 21  | 群馬発掘最前線                   | 群馬県教育委員会           |
| 22  | 地域をつなぐ未来へつなぐ              | 群馬県埋蔵文化財調査事業団      |
| 23  | 天平の壺ー鑑真大和と唐招提寺展           | 昭和女子大学 光葉博物館       |
| 24  | 弥生墓制の系譜                   | 神奈川県秦野市桜土手古墳展示館    |
| 25  | 早稲田の文学の一世紀                | 早稲田大学図書館編          |
| 26  | シーボルト父子の見た日本              | 東京都江戸東京博物館         |
| 27  | 近代版画に見る東京                 | 東京都江戸東京博物館         |
| 28  | 掘り出された都市                  | 東京都江戸東京博物館         |
| 29  | 参勤交代                      | 東京都江戸東京博物館         |
| 30  | 弥生人の暮らし                   | 栃木県なす風土記の丘資料館      |
| 31  | はにわ ワンダーランド 埴輪に見る下野の古墳文化  | 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館   |
| 32  | 岐阜県の明治維新                  | 岐阜県博物館             |
| 33  | 木簡が語る古代の信濃                | 長野県立歴史館            |
| 34  | 特別展「城下町 大発掘」              | 名古屋市見晴台考古資料館       |
| 35  | 特別展 古代の塩作りと海              | 紀伊風土記の丘資料館         |
| 36  | つちの中の京都                   | 京都市考古資料館           |
| 37  | 木村捷三郎収集瓦図録                | 京都市埋蔵文化財研究所        |
| 38  | 丹後大國の風景                   | 京都府立丹後郷土資料館        |
| 39  | 元亀争乱ー信長を迎え討った近江ー          | 滋賀県立安土城考古博物館       |
| 40  | 第11回企画展 湖西の歴史と風土          | 滋賀県立安土城考古博物館       |
| 41  | 縄文カタログ くらしと道具             | 滋賀県立安土城考古博物館       |
| 42  | 墓と弥生時代                    | 滋賀県立安土城考古博物館       |
| 43  | 金の太刀と銀の太刀 古墳飛鳥の貴人と階層      | 大阪府立近つ飛鳥博物館        |
| 44  | 仁徳陵古墳 築造の時代               | 大阪府立近つ飛鳥博物館        |
| 45  | 北の列島文化 清野謙次コレクションから       | 大阪府立近つ飛鳥博物館        |
| 46  | 古代桜井の木製品                  | 奈良県桜井市文化財協会        |
| 47  | 大和の大王の埴輪                  | 奈良県桜井市文化財協会        |
| 48  | 大唐王朝の華ー都・長安の女性達           | 兵庫県立歴史博物館 朝日新聞社    |
| 49  | 古代の炎と器                    | 広島県立歴史民俗資料館        |
| 50  | 広島市の文化財                   | 広島市教育委員会           |
| 51  | 伊予八幡の大名                   | 愛媛県歴史文化博物館         |
| 52  | 土佐を掘る 94・95               | 高知県立歴史民俗資料館        |

## 書籍類

| No. | 書 籍 名 (資料名)           | 発 行 者 名        |
|-----|-----------------------|----------------|
| 1   | 月刊倶楽誌 巫摩浪漫            | カスカワジム         |
| 2   | かながわ風土記 第 225 ～ 236 号 | (財) 扶桑伝統文化振興財団 |
| 3   | 羽陽文化 第 139・140 号合併号   | 山形県文化財保護協会     |
| 4   | 芝山町史 通史編 (上)          | 千葉県芝山町教育委員会    |
| 5   | 南陽市史編集資料 第 26 号       | 南陽市教育委員会       |
| 6   | 論集 しのお考古 目黒吉明先生       | 論集しのお考古刊行会     |
| 7   | 須恵器の系譜 歴史発掘 10        | 菱田哲郎           |
| 8   | 出羽三山史料集 中巻            | 出羽三山神社         |

## その他

| No. | 書 籍 名 (資料名)                       | 発 行 者 名            |
|-----|-----------------------------------|--------------------|
| 1   | 高畠町教育委員会の歩み                       | 高畠町教育委員会           |
| 2   | 私たちの学級 第 25 集                     | 高畠町立二井宿小学校 平成 7 年度 |
| 3   | Face to face 1996 12 号            | (財) 山形県国際交流協会      |
| 4   | 特別収蔵室見学の手引き                       | (財) 山形県埋蔵文化財センター   |
| 5   | ワイズワーク 4～6                        | 山形県企画調整部文化振興課      |
| 6   | 続豊浦地域史資料                          | 小野 泰編              |
| 7   | 豊浦地域史資料                           | 小野 泰編              |
| 8   | 天然記念物 ジャガラモガラ                     | 天童市立旧東村山郡役所資料館     |
| 9   | 東北芸術工科大学ニュース 4                    | 東北芸術工科大学企画広報課      |
| 10  | 東根城の話                             | 保角 里志              |
| 11  | 白い国の詩 1～12 鬼                      | 東北電力株式会社広報部        |
| 12  | 博物館研究 Vol.31 No.9                 | 日本博物館協会            |
| 13  | 「平塚川添遺跡と邪馬台国」シンポジウム報告 水に浮かぶムラのはなし | 平塚川添遺跡を愛するみんなの会    |
| 14  | 季刊 ミュージアム・データ No.32～35            | 丹青研究所              |
| 15  | 川崎利夫館長寄贈 書籍・報告書・図書類 合計 1,129 冊    |                    |



## 9. 日 誌 抄

- 4 / 1 辞令交付式  
4 / 15 館職員研修  
4 / 27 第5回企画展「山形県の古代窯業遺跡」開展  
5 / 4～5 風土記の丘写生大会 27名参加  
5 / 12 春の遺跡めぐり（川西町方面） 25名参加  
6 / 1～2 うきたむ考古の会研修旅行青森県山内丸山、木造町等 45名参加  
6 / 8 特別講演会 吉岡康暢氏 51名参加  
6 / 16 体験教室「土面・土笛づくり」 講師手塚孝氏  
7 / 13 第三期考古学入門講座開講式第1回考古学入門講座 34名参加  
7 / 14 体験教室「縄文土器づくり」 講師水野哲氏  
7 / 21 第2回考古学入門31講座名  
8 / 4 収蔵品展「縄文の四季」開展  
夏休み親子遺跡探検資料館周辺 13名参加  
8 / 8～9 夏休み自由研究相談 9名参加  
8 / 17 第3回考古学入門講座 33名参加  
8 / 24～25 東北中世考古学会 80名参加  
8 / 31 体験教室「土器づくり教室」2回目野焼き  
9 / 7 第4回考古学入門講座 21名参加  
9 / 22 第5回考古学入門講座 22名参加  
10 / 1 特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡」開展式及び開展  
10 / 5 第6回考古学入門講座 28名参加  
10 / 10 特別講演会 佐原真氏 70名参加  
10 / 20 縄文月見の宴 51名参加  
10 / 26 第7回考古学入門講座 16名参加  
11 / 2 第8回考古学入門講座 15名参加  
11 / 17 秋の遺跡めぐり南陽市方面 22名参加  
11 / 24 第9回考古学入門講座 22名参加  
11 / 30 特別展終了  
12 / 1 第10回考古学入門講座及び閉講式、懇談会 31名参加  
12 / 5 収蔵品展「やきもののうつり変わり」開展  
12 / 12 「創造の館」地鎮祭  
1 / 30 第1回本館運営協議会  
2 / 22～23 体験教室「編布づくり」 17名参加  
3 / 25 第2回本館運営協議会

## '96 / 年報

平成9年(1997年) 3月31日 印刷

平成9年(1997年) 3月31日 発行

編集発行 〒992-03

山形県東置賜郡高島町大字安久津 2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238 (52) 2585

FAX 0238 (52) 4665

印刷 有限会社 寄清堂印刷

